

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	令和3年度第1回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	令和3年4月23日(金)			
開催場所	書面開催			
出席者数	17人 【委員】 15人 宇田川 明、森下 香洋子、石川 香、浅見 伸介、橋本 玲子、 門倉 美雪、佐原 滋元、笠貫 昇、橋本 恵子、小木曾 清三、 佐野 まさ子、土屋 爲由、碓氷 喜信、小林 茂美、木股 里穂 【事務局】 2人 環境保全課環境管理担当主査、環境保全課環境管理担当主任			
会議の公開 (傍聴)	非公開(傍聴できない) ※書面開催のため	傍聴者数	なし	
議題	1 委嘱状交付について 2 今期の委員構成について 3 会長及び副会長の選出について 4 今後の活動及び検討事項について			
配付資料	次第 【資料1】すみだ環境共創区民会議 委員名簿(令和3年度・令和4年度) 【資料2】意見シート			
会議概要	※本会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、書面開催とした。 (令和3年4月23日) 資料を委員に送付 (令和3年5月14日まで) 意見シートの提出期限 1 委嘱状交付について 本書面会議において郵送にて委嘱状を交付した。 2 今期の委員構成について 【資料1】「すみだ環境共創区民会議 委員名簿(令和3年度・令和4年度)」 のとおり 3 今期の会長及び副会長について(【資料2】 設問1) 対面式での開催は次いつできるのか不透明な状況であるため、事務局案として、 前期の会長及び副会長から了承が得られれば、継続していただくのはいかがでしょうかと提 案するとともに、自薦他薦についても委員に伺った。 結果、前期の会長及び副会長から了承が得られたが、他に立候補及び推薦があ ったため、委員に結果を報告し、次回以降に検討することとした。			

4 今年度の検討事項について（【資料2】 設問2）

今年度予定している「第二次すみだ環境の共創プラン（すみだ環境基本計画）」の中間改定及び「第二次墨田区緑の基本計画」の策定に当たって、また、それ以外のことでも検討したい事項等について委員に伺った。

【委員からの回答】

・区民は区民意識調査等の結果を、事業者は企業の施策等を踏まえて今期取り組むべき課題を抽出し、区民はプラスチック廃棄物や食品廃棄物、事業者は二酸化炭素の排出やエネルギー問題等について取り組み、区は区民や事業者へ分かりやすい啓発をすることが重要だと考える。

・区が計画策定する際は、区も区民も、現地の状況をよく理解しておく必要がある。コロナ禍ではあるが、感染防止に配慮し、フィールドワークを実施したい。

・SDGsについて理解を深めたい。

・会議の開催方法について、オンライン会議を検討してはどうか。

・緑化問題はこれまでも色々な意見が出ており、前向きに活動し協力していきたい。

・地球の平均気温が2度上昇すると、縄文時代と同じような環境となり、当時、墨田区は海の底となっていた。地球温暖化に対しては、打ち水や省エネエアコン等の普及等によって、当面は対処できるかもしれないが、子どもや孫の時代では、水没する恐れがあるということ認識しておく必要がある。

・第二次墨田区緑の基本計画は、緑被率の13%という数字の見直しなど、実効性に疑問を感じる。目標を達成するために、民間に委ねることも必要だと考える。また、例えば廃校の校庭など、公共施設の利活用も必要だと考える。

・生物多様性については、区民の関心が低い。生物は、人間だけでなくすべての生物とのつながりがある。特に子どもに対しても、そのような情報発信を強化して行っていくことが必要だと考える。

・これからは、地球温暖化について大いに議論が必要であり、緑化問題だけではなく、省エネについても大事な要素だと感じている。今後も地球温暖化について議論を深めたい。

・ヒートアイランド対策の一つとして、まちかどクールスポットを増やすことが挙げられている。公園のベンチに座って飲み物を飲みたい時、ベンチに先客がいると、遠慮してしまうことがある。一人でも座れる椅子を増やすのはどうか。

また、歩道に太陽光パネルを使った日陰を作るのはどうか。

・共創プランの中間改定は見直すべき点多々あると思う。議論を重ねていきたい。

・地球温暖化の影響などによって、桜の環境も変わってきている。それは木々だけでなく、環境全て、人間界においても影響がある。緑から原点に戻り、感じられる事を提言していきたい。

・なぜ温室効果ガスを削減しなくてはならないか、温室効果ガスが増え続けた場合の区民の日常生活に与える影響など、家庭の省エネ行動について区民一人一人が身近な問題として周知啓発の強化を図る必要がある。また、家庭生活における、CO2削減につながるアイデアなどを募集して、優秀なものを区報などで紹介するなど、区民が真剣にCO2の削減に取り組むきっかけを作ってはどうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次墨田区緑の基本計画の策定に当たっては、地域別のフィールドワークなどを行い、墨田区の緑化の推進の課題等を把握した。各種課題など、短期的に解決可能なもの、中長期的な課題として時間をかけて推進するものに整理し、意見交換等を行いながら計画に反映させていくことが必要だと考える。 ・ 計画の改定及び策定にあたっては、フィールドワーク、特に現地調査を活用することを提案したい。また、当会議の活動状況について広報活動を深めるように区報やインターネットを利用することも検討すべきである。 ・ テニスコートのフェンスを利用した、緑のカーテンや緑化のイベントを開催し、テレビ、SNS、区のお知らせなどで、緑化の取り組みを積極的に発信すべきと考える。 ・ 区立児童遊園を子育てに魅力ある環境として活用してはどうか。具体的には、子育て中の人たちが、我がこととして、自分たちの児童遊園として関わり、参加・協働するよう、児童遊園でタンポポ・朝顔のタネを撒く、クローバーの苗を植える、などを行う。 ・ オンラインでの会議の開催を検討していただきたい。書面開催では、双方向でのコミュニケーションやディスカッションができず、話し合いが進まないことが懸念される。また、集合形式にすると不安な方もいる。オンラインで参加できる方は当日オンラインで参加し、オンライン参加できない方は、議事録を共有したうえで書面での意見を募るようにはどうか。 ・ 各委員の自主性を高めるため、司会については持ち回りで行うのはどうか。 <p>【事務局】</p> <p>本会議でいただいた意見等を参考に、コロナ禍における会議の開催方法や、計画策定に向けて、より効果的に意見交換等できるように進めていく。</p>
所 管 課	墨田区都市整備部環境担当環境保全課環境管理担当 内線 5473